

凡事徹底 野間中だより

平成26年12月10日

第201号

野間中学校



12月4日～10日は人権週間です。

人権週間にあたり、12月8日(月)の生徒朝礼で寺田校長は、全校生徒に人権について考えるよう講話を行いました。

すべての人は生まれながらにして人間らしく幸せに生きる権利があり、誰もその権利を侵すことはできないと日本国憲法でも基本的人権の尊重が定められ、保障されている。それなのに私たちのまわりには、いまだに差別やいじめが後を絶たない。

「一人じゃないよ」ではじまる中学生の作文を紹介します。これは第26回全国中学生人権作文コンテスト内閣総理大臣賞を受賞した作品で、沖縄県伊平屋中1年伊禮美朱紀(いれいみずき)さんの作文です。



校長 寺田 眞一

「一人じゃないよ」

幼稚園の時からずっと変わらないこのクラスの中に、いじめがあると初めて知ったのは小学校4年生の時だった。いや、私が4年生の時まで知らないふりをしていたのだ。いじめの標的となるのは、おとなしいとか、背丈が低いとか、太っているとか、優しすぎて何を言われても言い返せない、といった人達だった。

私はその頃からいじめのリーダーに近づき、仲良くなった。自分がいじめの標的にされるのが怖かったからだ。リーダーの言うことは、何でもよく聞き、行動した。初めは無視、そしてものを隠す。それがエスカレートしてノートへの落書き、ありもしない悪口を言うなどだった。いじめをするのは簡単なものである。遊び半分という感じで、相手の気持ちなど考えもしない。いじめっ子たちは楽しそうに笑った。私もつられて笑ったりした。5年生の2学期のある日、私のノートがなくなっていた。それだけでなく靴もなくなっていた。翌日返ってきたノートは落書きだらけで、靴は汚れていた上にぬれていた。誰も口をきいてくれず、私は一人であることが多くなった。初めていじめられた人の傷の痛さを味わった。人の前では涙を見せなかったが、私の心はいつも泣いていた。寂しくて、怖くて、悲しくて、心が痛くなることを初めて分かった。自分もいじめをしたこともあって、親にも先生にもつらい気持ちを伝えることができなかった。

私へのいじめが1ヶ月ほど続いた頃、新しい子が標的にされた。それは転校生のAさんだった。いじめのリーダーと2・3人が来た。「あいつちょうムカツクよね」とリーダー達、「何を？」私は精一杯の抵抗をした。いじめっ子達は「覚えておけ」と言わんばかりに私をにらみつけて去った。明らかに私をいじめる側につかせる誘いだった。Aさんをひとりぼっちにさせたかったのだ。私はもういじめる側の仲間に入る気は全然なかった。むしろAさんが気になった。なぜ罪もない優しいAさんが、こんなにおびえて学校に来なくてはならないのか。

私は考えた。私にできることは何だろうか。いじめられる中で私が一番してほしかったことを今、してあげなければと思った。私はAさんに心の底から思いを込めて言った。「あんたは一人じゃないよ」、たった一言だけとちゃんと伝わった。Aさんは泣きながら「ありがとう」と言った。翌日、Aさんの笑顔がまぶしく輝いていた。私も一人でないことを感じた。私とAさんはいじめを受けていることを先生や親に話した。

学級では「いじめ」について話し合った。司会になった私は、まず自分がどんないじめをし、どんないじめをされたかを隠すことなく話した。他のいじめた人達、いじめられた人達も真実を正直に話してくれた。先生はいじめは自由、平等、幸せに生きる権利をこわす行いだからあってはならないことを分かりやすく話された。私たちはこの学級からいじめをなくすことを誓い合った。

あれから2年、今私たちは中学校1年生。やっぱり、あの時と変わらない顔ぶれの学級である。でもあれ以来いじめは一度も起こっていない。男女を問わず仲がよく、楽しい学級である。

みなさん、いじめを見たり、聞いたりしたら知らんふりをせず、必ず思いやりの手を差し伸べてほしい。先生や親に知らせることも一つの思いやりだと言える。私は「この世の中にいじめはあってはならない」ことをこれからも訴え続けていきたい。

いかがでしたか。今週は人権週間です。このときをよい機会にして、今一度「人権」について考えましょう。

資源回収ご協力ありがとうございました。

11月15日(土)に取り組んだ資源回収で334,145円の収益がありました。この資源回収の収益金は部活動費などの教育活動の一助にさせていただきます。



平成26年度武豊町民中学生軟式野球大会 第2位 (再掲)

岩川 優太・岩川 健太・谷輪昇汰郎・田島 健太・神谷 健介・中谷 光孝・溝淵 陸・横山 光
柿田 友弥・中野 甚八・渡邊 伊織・前田 雄祐・中山 陽太・大崎 有悟・太田 光咲・光本 悠馬
藪井 俊樹・久綱 健介・畑中 秀太・近藤 玲生

前号にて記載のミスがございました。訂正してお詫びいたします。

あいさつ運動

11月20日、平成26年度「地域のつどい」知多地域一斉該当啓発キャンペーンに本校も参加しました。当日は、PTA役員の皆さん・生徒会執行部・生活委員会・教員が通用門の前で、早朝よりあいさつ運動を行いました。手作りの「あいさつうちわ」も活用しながら登校してくる生徒と元気よくあいさつを交わしました。



「大きな声であいさつをするのにちょっと勇気がいったけど、あいさつをすると笑顔とあいさつが帰ってきてうれしかったです。次回からはあいさつボランティアを募って、生徒全員であいさつ運動に取り組もうと思います。寒い朝でしたが、PTAのみなさん、先生方、ご協力ありがとうございました。」

生活委員会一同

美浜町文化振興事業「2014年美浜町まちの音楽会」 「野間中合唱部」「のまっキーズ」が出演します



今年度も12月14日(日)美浜町総合公園体育館アリーナにて開催されます。今回の音楽会に野間中学校から合唱部と教員バンド「のまっキーズ」が出演します。

野間中合唱部 出演順番7

予定時刻 11:30~11:45
発表曲♪ A Whole New World (アラジン)
♪ クリスマスソング



「のまっキーズ」出演順番12

予定時刻 13:15~13:30
発表曲♪ 涙を虹に ♪ 糸



「野間中の教員で構成したバンドです。ギターは清水靖、ピアノは都甲涼子、サクソフは田畑公宏、ドラムは山本真依子、ベースは井上拓人、ボーカルは杉村貴秀です！初出場ですが元気いっぱい演奏します！」



「朝部はランニングや筋トレで鍛えています。みなさんに楽しんでいただけるようがんばって歌います！」

その他、ポップス、バンドで野間中の保護者のみなさんも出演予定です。みなさんお楽しみに！

冬休みに向けて 生徒指導主事 岡井 聖忠



冬休みというのは1年のゴールと新年のスタートを迎えます。

スマートホンやケータイ、パソコンなどを使っている人が増えてきました。iPod や Android などのタブレットを使っている人もいます。Twitter, LINE, ツイキャスなどの言葉は聞いたことがあるでしょう。Twitter で悪ふざけの写真を載せて逮捕された大学生・高校生とか、LINE でいじめにあったとか、被害にあっている、犯罪になっているニュースも多くなりました。悪口を書き込んだり、誤解される言い方をしたり、軽はずみな行動はしないでください。自分でトラブルから身を守る行動ができるように、保護者のみなさんのご協力をお願いします。

次に交通安全です。とくに自転車です。本校ではヘルメットを着用し、交通ルールを守ることは「凡事徹底」とおり、当たり前でなければなりません。冬休み中、登校ではないからといってノーヘルで乗ったりしてはいけません。二人乗り、携帯電話を使用しながらの運転、無灯火などは学校のルールだけでなく道路交通法違反となります。気をつけましょう。

また、どこに行くのか、何時に帰ってくるのか、何をしに行くのか、誰と行くのか、お金はもっていくのか、など、家族にきちんと伝えましょう。家族の一員としての家族に心配をかけないようにしましょう。自分で社会のルール、家族のルールを守りましょう。もちろん健康管理も大切です。



有意義で楽しい冬休みにしましょう。みなさんよいお年を！

次号は新年1月10日号です。みなさんよいお年を！

編集部より 「野間中だより」をご愛読ありがとうございます。「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 nomajh_dayori@yahoo.co.jp